

「とくしま人口ビジョン(仮称)」骨子案

1 人口の現状分析

【本格的な人口減少局面が到来】

- ・1999年以降、16年連続で人口減少
- ・2007年には80万人を割り込み、現在は76万人台まで減少
- ・合計特殊出生率は1.43(2013年)で21年連続の「自然減」
- ・「社会減」も16年連続で継続中

【このまま推移すれば】

- ・2040年には57.1万人まで減少と推計
- ・地域の衰退や地域経済の縮小はもとより、社会保障制度の維持が困難になるなど深刻な懸念

2 人口の将来展望

①目指すべき将来の方向

○「とくしま回帰」の流れを加速する

➢「ひと」と「しごと」の流れを県下全域に呼び込むことが重要。例えば、過疎地域にありながら「社会増」も見られる上勝町、神山町、美波町や、若手林業従事者を呼び込む那賀町など、地域特性を活かした独自の取組を全県的に広げていく。

➢地方に遅れて超高齢社会を迎える大都市圏の処方箋を地方から発信することが「日本の創生」に繋がる。例えば、本県にゆかりのある高齢者の里帰りなど、「vs東京」の旗印のもと、都市と対になって、徳島から東京一極集中の是正を目指す。

○若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる

➢若い世代が希望を持ち安心して家庭を築くことができる社会に向け、ライフステージに応じた支援を強化する。例えば、本県の正規雇用率は全国トップクラスであり、若者の雇用拡大と生活の安定を通じて、結婚・子育ての希望実現を支える。

○多様な価値観が息づく活力ある地域を創造する

➢共通コンセプト「vs東京」が掲げる東京にはない徳島の価値や地域の強みに気付き、磨きをかけることが重要。例えば、全国屈指のブロードバンド環境は「とくしま回帰」の有効なツールであり、「桃源郷」とも称される県西部の観光資源や「主伐の時代」を迎える森林資源など、大きな潜在力を最大限に発揮する取組を加速する。

○人口減少社会に複眼的に対応する

➢人口減少に歯止めをかけるため早期に実効性ある施策を講じながら、地域の衰退や労働力不足など当面避けられない課題にきめ細やかに取り組み、持続可能な地域づくりを目指す。

②人口の将来展望

【国「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の目標設定】

◆2060年に1億人程度の人口を確保

- 出生率の上昇による(2030年:1.8→2040年:2.07)
- 長期的には総人口9000万人程度で安定的に推移

【徳島県における将来目標】

＜自然動態＞出生率の改善 ＜社会動態＞転出超過の解消

人口減少のスピードに歯止めをかけ、2060年に●●万人程度を確保する (※今後、目標設定)

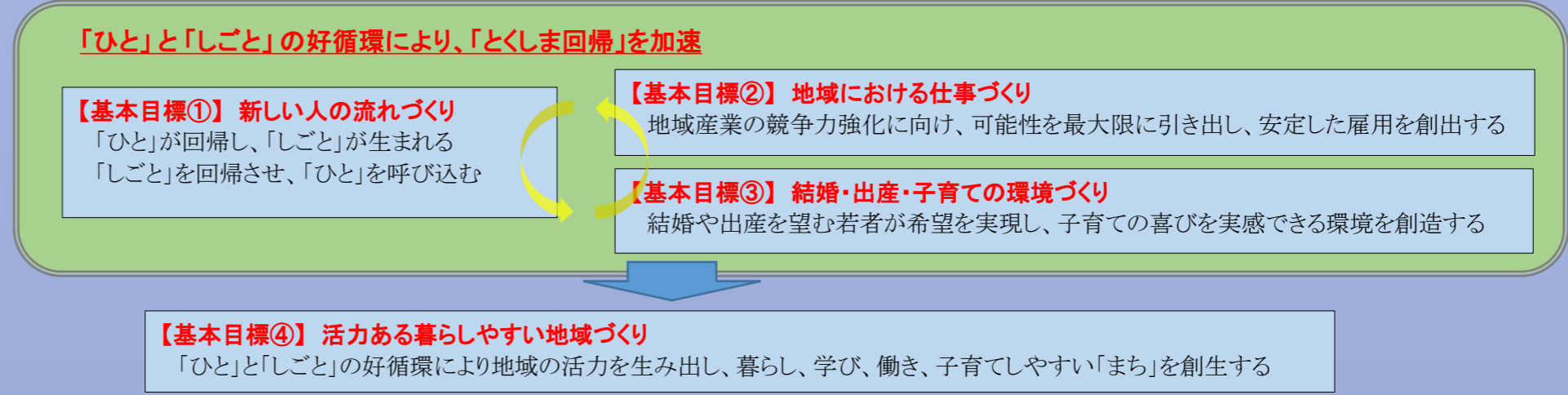
「『とくしま回帰』総合戦略(仮称)」骨子案 <2015~2019年度>

1 基本姿勢

「とくしま人口ビジョン」が描く将来像へ向け、人口減少の克服と持続可能な地域づくりを実現するための今後5か年の目標と施策の方向性を示す

- ◆産官学労言の各界代表者に加え、地域や住民の代表から成る「地方創生“拳県一致”協議会」による推進体制
- ◆県議会における審議と幅広い県民意見の聴取
- ◆市町村との情報共有と相談支援体制の構築による連携強化
- ◆外部有識者の参画により、客観的な効果検証と改善を行う「PDCAサイクル」の確立

2 基本目標と基本的方向 ※具体的な「数値目標」は引き続き検討



3 具体的な施策 <課題解決への処方箋>

※主なものを記載

- 1. 新しい人の流れづくり**
- 移住交流の推進
 - 「住みたい」「働きたい」とくしま回帰モデルの発信
 - 農林水産業にチャレンジできる魅力あるフィールドを全県的に展開
 - 企業・政府関係機関の誘致
 - 企業の「成長発展の地・とくしま」への本社機能の回帰を促進
 - 政府関係機関の「フィールドワークの拠点・とくしま」への回帰に挑戦
 - 県内高等教育機関の充実と若者の定着促進
 - 県下全域に広がる大学の「地(知)の拠点」との連携を強化

- 2. 地域における仕事づくり**
- グローバルに「稼ぐ力」の創出
 - 世界を視野に！徳島の強みを活かした成長ビジネスの新展開
 - 世界市場を見据えた6次産業化の徳島モデル創出
 - 「観光立国」の先陣を切る
 - 「訪日外国人2000万人」の新たな流れを呼び込む
 - 徳島ならではの魅力ある大規模集客イベントの拡大
 - 地域産業の飛躍を支える人づくり
 - 次代を担う産業人材の育成・確保と技術の継承
 - 実践的な「もうける」ICT人材の育成

- 3. 結婚・出産・子育ての環境づくり**
- 「少子化対策緊急強化基金」を活用した切れ目のない支援
 - 結婚の希望を実現する「攻め」の婚活支援
 - ゆとりある豊かな子育て家庭の実現
 - 子育てを支える温かい地域社会の形成
 - 若い世代の正規雇用のさらなる拡大
 - 仕事と子育てが両立する働き方の実現

- 4. 活力ある暮らしやすい地域づくり**
- 「課題解決先進地域」の加速
 - 課題解決先進市町村の支援
 - 「地方創生特区」の積極的な活用
 - 「知恵は地方にあり」を具現化する政策提言の実施
 - 多様な人材が輝く地域づくり
 - 「女性の活躍元年」からのステップアップ
 - 元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現
 - 若者の自己実現へのチャレンジを応援
 - 地域間連携による取組の進化

26年度補正予算によりスタートダッシュ 「県版・総合戦略」を27年7月を目途に策定し、「市町村版・総合戦略」の早期策定へ